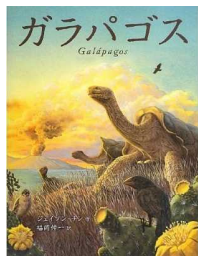


1 ガラパゴス



- ① ジェイソン・チン/作
福岡伸一/訳
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ E

ダーウィンの進化論で有名なガラパゴス諸島。

かつてガラパゴス諸島に存在した島の誕生から、海の底に沈むまでが、美しい絵とともに綴られています。生物の進化などへの興味が高まる一冊です。

2 グーテンベルクのふしぎな機械



- ① ジェームズ・ランフォード/作
千葉茂樹/訳
- ② あすなる書房
- ③ 1500円
- ④ E

ドイツのマインツ市に住むグーテンベルクが、インクと活字を作り印刷機を設計。その歴史が美しい絵本で表現されています。中世ヨーロッパの人々の様子も色鮮やかに描かれていて楽しむことができます。

3 さみしかった本



- ① ケイト・バーンハイマー/文
クリス・シーバン/絵
福本友美子/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1500円
- ④ E

図書館に入った新しい本は、はじめは多くの人に読まれてとても幸せです。でも何年もたつて古ぼけると、だれも手にとってくれなくなります。古くなって読者を待ち続けるさみしい本と本が大好きな女の子の出会いの物語です。

4 川をのぼって森の中へ
ボルネオ島マハカム川の旅

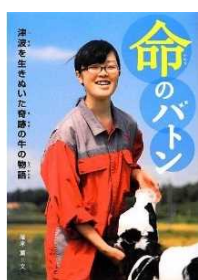


- ① 今森光彦/著
- ② 偕成社
- ③ 1600円
- ④ 294013

川とともにある人々のくらしや豊かな自然、めずらしい動植物などが写真で紹介されています。ボルネオ島マハカム川をさかのぼっていく旅で、人間が自然とともに生きていくことについて考えさせられる一冊です。

5 命のバトン

津波を生きぬいた奇跡の牛の物語



- ① 堀米薫/文
- ② 佼成出版社
- ③ 1500円
- ④ 364013

東日本大震災で、奇跡的に生き残った宮城県農業高等学校の牛たち。その牛とともに共進会に出場しようとする先生や生徒の実話に基づいた物語です。生と死、命の大切さ、生きる希望を感じさせてくれる一冊です。

小学校中学年の本

①著者名 ②発行所 ③本体価格 ④請求記号

6 ソフィー・スコットの南極日記



- ① アリソン・レスター/作
斎藤倫子/訳
- ② 小峰書店
- ③ 1500円
- ④ 40L013

船長であるお父さんと一緒に南極に行くことになったソフィーの30日間の日記。

初めて冰山を見た驚き、ペンギンとの出会いなど、ドキドキわくわくの毎日が描かれています。イラストや写真がたくさん使われており、南極のことがよく分かる一冊です。

7 クマに森を返そうよ



- ① 沢田俊子/著
- ② 汐文社
- ③ 1400円
- ④ 48#013

筆者は「ツキノワグマはどんぐりが大好きなおとなしくてやさしい動物」と語っています。クマがときに人間をおそうのはなぜでしょう。クマと森と人を守る活動をしている著者が、取材を通してさまざまなことを教えてくれます。

8 かあちゃん取扱説明書



- ① いとうみく/作
佐藤真紀子/絵
- ② 童心社
- ③ 1200円
- ④ 914013

いつもお母さんに怒られてばかりいる哲哉。お母さんの扱い方をマスターすればぼくの思い通りになると思い、「取扱説明書」を書き始めます。

楽しく、切なく、温かい気持ちになれる一冊です。

9 ときどき杉山さんが



- ① おおむろときこ/著
- ② 幻冬舎ルネッサンス
- ③ 1200円
- ④ 91#012

金色まき毛、緑のつば広帽子…、左ポケットに突然やってきた小さな天使の杉山さん。そんな杉山さんに助けられて、小学3年生の甘えん坊りょうくんは、少しずつ成長していきます。りょうくんの友だちへの思いやりを感じ、優しい気持ちになれる一冊です。

10 おいで、もんしろ蝶



- ① 工藤直子/作
佐野洋子/絵
- ② 理論社
- ③ 1500円
- ④ 91#013

ふきのとう、梅の花や菜の花、てんとうむしやもんしろ蝶。自然を題材にした童話がたくさん詰まった一冊です。ある晴れた日にこの本を読みながら、「空想すること」を楽しんでみてはいかがでしょうか。命の輝きを感じることができる作品です。

11 じいちゃんの森
森おやじは生きている



- ① 小原麻由美/作
黒井健/絵
- ② PHP 研究所
- ③ 1300円
- ④ 911012

小学3年の春休み、喘息を治すために家族全員で、田舎のじいちゃんの家に移った。大きなクヌギの木「森おやじ」やじいちゃんを見回す森から少しずつ力をもらいます。じいちゃんとの別れを悲しみながらもだんだん強くなっていく主人公に共感します。

12 ひまわりと子犬の7日間



- ① 坂田智昭/写真
高山リョウ/文
山下由美「奇跡の母子犬」(PHP研究所刊)/原案
- ② ホーム社
集英社(発売)
- ③ 1200円
- ④ 911013

野良犬になってしまった母犬と生まれたばかりの子犬が動物保護管理所に収容されました。母犬は子犬を守るために必死です。子犬を守ろうとする母犬と管理所の職員との関わりを通して感動が伝わるフォトエほんです。

13 ねこじゃら商店
世界一のプレゼント



- ① 富安陽子/作
平澤朋子/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1000円
- ④ 911013

欲しい物が何でも手に入るねこじゃら商店。「アメを買いにきたキツネ」や「世界一のプレゼントを買いにきた男」など、店主の白菊丸とお客のちょっと不思議な5編の物語です。ついどんな物を買おうかと考えたくなる一冊です。

14 ねこの郵便屋さん



- ① 中村翔子/作
たごもりのりこ/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1300円
- ④ 911013

実際にあった出来事をもとにまとめられた楽しく不思議なお話です。気まぐれなねこに振り回されたように思われますが、「ねこの郵便屋さん」は老夫婦と子どもをつないでくれました。読んだ後、心がぼかぼか温くなる一冊です。

15 ただいま! マラング村
タンザニアの男の子の話



- ① ハンナ・ショット/作
佐々木田鶴子/訳
齊藤木綿子/絵
- ② 徳間書店
- ③ 1400円
- ④ 941013

タンザニアに住む男の子ツソ。おばさんの家におにちゃんと暮らしていますが食べ物が満足にももらえず、ある夜2人で逃げ出します。途中お兄ちゃんとはぐれ、路上で暮らすことになったツソが、再び故郷に戻るまでを描いた実話に基づくお話です。